

# 農林水産物・食品分野における 物流生産性向上の取組について

---

令和8年2月16日  
中国四国農政局

# 農林水産物・食品の物流生産性向上の方向性

- 2024年は大きな混乱なく経過したが、輸送力不足・輸送費上昇の実感は顕著。
- 物流効率化法施行に加え、下請法改正及びトラック法改正も踏まえ、**物流効率化と取引適正化は喫緊の課題**。
- 食料システム法に基づく流通合理化事業活動への支援や、取引条件の協議・商慣習の見直しも活用可能。

## ○ 2025年度～2030年度の重点取組事項

### ①パレット標準化

### ②モーダルシフト・中継輸送

### ③デジタル化

### ④商慣習の見直し

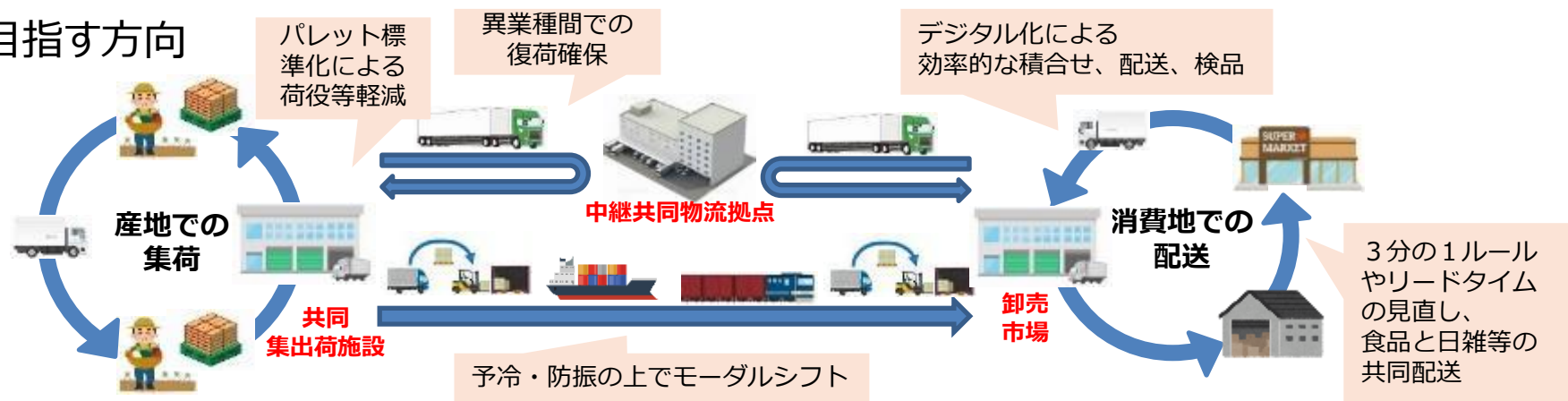
物理的障害要因への対応

最適化・省力化に必要な情報の整備

発着連携の深化

積載効率の向上等／荷待ち・荷役時間の短縮／長距離輸送削減による輸送能力の確保

## ・目指す方向



食品等の流通を確保し、食料・農業・農村基本計画等に基づく農林水産施策を推進する基盤とする

# 25-1 物流革新に向けた取組の推進のうち 持続可能な食品等流通総合対策事業

令和8年度予算概算決定額 420百万円（前年度 120百万円）  
〔令和7年度補正予算額 1,967百万円〕

## <対策のポイント>

我が国の物流における輸送力不足への対応や、農業・食品産業基盤等の食料供給能力の確保のため、①標準パレットの導入、デジタル化・データ連携、ラストワンマイル配送の取組、デジタル化や自動化・省人化に必要な設備・機器等の導入等、②中継共同物流拠点の整備を通じた流通の合理化や、③産地から港湾・空港までの最適な輸送ルート・体制の構築や地方港湾・空港を活用した新たな輸出物流の構築等を推進し、国民の食料安全保障を確保します。

## <事業目標>

流通の合理化を進め、飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合を削減（12.4% [令和5年度実績] →10% [令和12年度まで]）等

## <事業の内容>

### 1. 持続可能な食品等流通対策事業

420百万円（前年度 120百万円）

標準パレットの導入、デジタル化・データ連携、モーダルシフト、ラストワンマイル配送等の取組や、物流の効率化に必要な設備・機器等の導入を支援します。

### 2. 食品等物流合理化緊急対策事業 【令和7年度補正予算額】1,967百万円

#### ① 物流生産性向上推進事業 973百万円の内数

標準パレットの導入、デジタル化・データ連携、モーダルシフト等の取組や、物流の効率化に必要な設備・機器等の導入を支援します。

#### ② 推進事業 973百万円の内数

物流改善に取り組む者を対象に、産地等の課題に応じて物流の専門家等を派遣する伴走支援等を支援します。

#### ③ 輸出物流構築事業 973百万円の内数

地方港湾・空港を活用した新たな輸出物流を構築する取組、デジタル化、自動化・省人化に必要な設備・機器の導入等を支援します。

#### ④ 中継共同物流拠点施設緊急整備事業 994百万円

中継輸送、モーダルシフト等に必要となる中継共同物流拠点の整備を支援します。

## <事業イメージ>

流通関係者による協議会

産地 卸売業者 小売業者 物流事業者 輸出事業者 等

### <物流生産性向上推進>

標準パレット化、デジタル化・データ連携



モーダルシフトへの適応



### <ラストワンマイル配送支援>

移動販売車、乗合バス導入



冷蔵庫・パレタイザー導入 物流施設の利用



### <輸出物流の構築>

輸出基地の確保



### <中継共同物流拠点の整備>

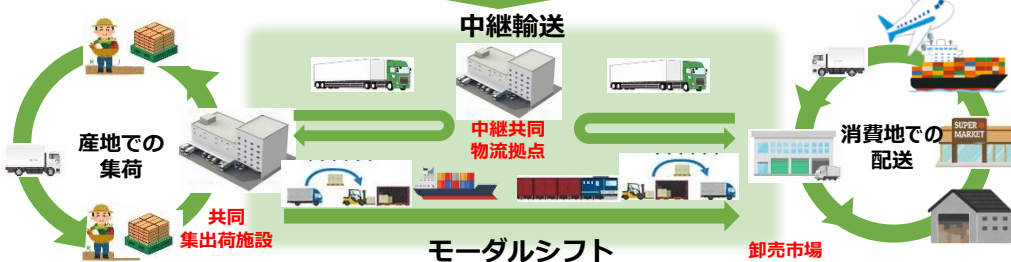
大型車に対応した  
トラックバースの整備



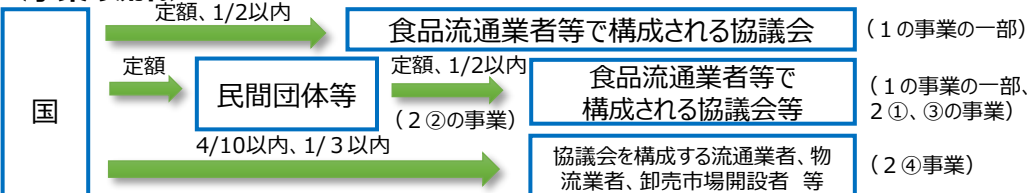
コールドチェーン確保の  
ための冷蔵設備の整備



## 新たな食品流通網の構築



## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】（1、2①～③の事業）大臣官房新事業・食品産業部食品流通課物流生産性向上推進室（03-6744-2389）  
（2④の事業）卸売市場室（03-6744-2059）

# 2 卸売市場緊急整備事業

令和7年度補正予算額 7,844百万円

### <対策のポイント>

産地の出荷体制の高度化・効率化に対応した農産物等のサプライチェーン全体の物流効率化や、「海外から稼ぐ力」を強化すべく農林水産物・食品の輸出を促進するため、**卸売市場の再編集約・合理化・高度化のための施設整備**を支援します。

### <事業目標>

- 流通の合理化を進め、飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合を削減（12.4% [令和5年度実績]→10% [令和12年度まで]）
- 農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円 [2025年まで]、5兆円 [2030年まで]）等

### <事業の内容>

#### 1. 卸売市場の再編集約

老朽化した卸売市場の再編集約に必要な**施設の整備、既存施設の解体、撤去、廃棄、整地**を支援します。

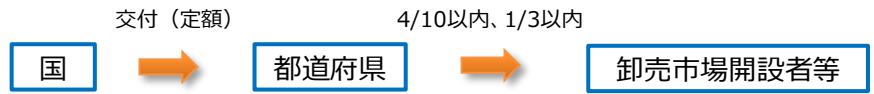
#### 2. 卸売市場の合理化

トラック予約システム、納品伝票の電子化・データ連携システム、自動フォークリフト（AGF）、自動搬送車（AGV）等、**デジタル化・省力化に必要な機械設備の導入**と併せて行う、老朽化した**卸売市場の施設整備**を支援します。

#### 3. 輸出拡大に向けた卸売市場の高度化

フラッグシップ輸出産地等との連携により輸出拡大を図るため、輸出先国までに一貫した**コールドチェーンシステムの確保**に資する**施設**や**輸出先国が求める品質・衛生管理基準等を満たす高度な施設整備**を支援します。

### <事業の流れ>



### <事業イメージ>

#### <再編集約・合理化のイメージ>

・複数の既存施設を廃止し、集約して新規に卸売市場を設置



・デジタル化・省力化に必要な機械設備を導入する卸売市場の再整備



AGV（自動搬送車）の導入

インターネット取引システムの導入

#### <輸出拡大に向けた卸売市場の高度化のイメージ>

コールドチェーン対応卸売市場施設



高度な温度管理が可能な施設を整備することで、輸出先国までの一貫したコールドチェーンシステムを確保

[お問い合わせ先] 大臣官房新事業・食品産業部食品流通課 (03-6744-2059)

### 3 物流革新に向けた取組の推進のうち

## 食品流通拠点整備の推進（強い農業づくり総合支援交付金の一部）

令和8年度予算概算決定額 12,013百万円（前年度 11,952百万円）の内数

#### <対策のポイント>

卸売市場の物流機能を強化し、将来にわたって生鮮食料品等の安定供給を確保するため、物流の標準化やデジタル技術等の活用による業務の効率化・省力化、防災・減災への対応を図り、幹線輸送、有機農産物や小口需要対応、輸出拡大の拠点となり得る卸売市場施設等の整備を支援します。

#### <事業目標>

流通の合理化を進め、飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合を削減（12.4% [令和5年度実績]→10% [令和12年度まで]）等

#### <事業の内容>

##### 1. 卸売市場施設整備

生鮮食料品等の流通の確保のための機能の高度化、輸出拡大、防災・減災対策を実現するため、

- ① 物流の効率化・自動化・省力化
- ② 共同輸配送等に対応する物流機能の強化
- ③ デジタル化・データ連携の強化
- ④ 品質・衛生管理の高度化
- ⑤ 分荷機能の強化
- ⑥ 輸出先国までのコールドチェーン・衛生管理基準の確保
- ⑦ 災害時の物資調達・供給拠点機能の強化

等に資する卸売市場施設の整備を支援します。

##### 2. 共同物流拠点施設整備

物流効率化やCO2排出削減に資する共同配送・モーダルシフトのためのストックポイント等の共同物流拠点施設の整備を支援します。

#### <事業イメージ>

##### 1. 卸売市場施設整備



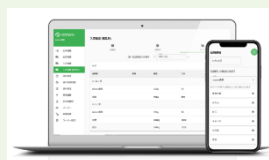
全天候型で、左右どちらにも荷下ろし可能な中央通路



外気の影響を受けないドックシェルター



需要に対応した大小の定温施設



データ連携・デジタル化による業務の改善



自動搬送装置

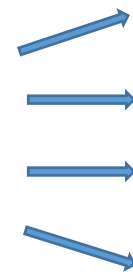


加工処理施設



非常用電源

##### 2. 共同物流拠点施設整備



#### <事業の流れ>



[お問い合わせ先] 大臣官房新事業・食品産業部食品流通課 (03-6744-2059)

# 農林水産品・食品分野の物流標準化

- **加工食品分野**で物流標準化アクションプランに基づく取組を推進するとともに、**青果物、花き、水産物**の分野においても、検討会での関係者の議論を経て、品目ごとの**流通標準化ガイドライン**を策定。
- **全産業的にも**、官民物流標準化懇談会パレット標準化推進分科会において、**11型レンタルパレット**を標準仕様とする旨を令和6年6月に取りまとめ。

	策定期期、名称	標準パレット等(単位:mm)
加工食品	令和2年3月 加工食品分野における物流標準化アクションプラン	サイズ：1,100×1,100 1,200×1,000
青果物	令和5年3月 青果物流通標準化ガイドライン	サイズ：原則1,100×1,100 材質：プラスチック製を推奨 運用：レンタルが基本
花き	令和5年3月 花き流通標準化ガイドライン	<台車> フル台車：W1,055×D1,285×H2,068 ハーフ台車：W520×D1,280×H1,900 <パレット> サイズ：1,100×1,100
水産物	令和6年3月 水産物流通標準化ガイドライン	サイズ：1,100×1,100 材質：プラスチック製を推奨 管理：パレット管理責任者の配置等

## パレット化・標準化



・みかんのパレット輸送実証では、10t車の荷卸しが**選果場で60～90分→30分**  
**卸売市場で2時間削減**

(標準的な運賃ベースで  
2,260円/30分×4時間  
-2,340円/30分×1時間  
=13,400円の荷役料削減)



・レンタルパレットは産地に持ち帰る必要がなく、**復路で帰り荷を載せる等の有効活用**ができる。

・産地保有パレットを返却まで保管すると、10t車1台のパレット(16枚)を一山で積むとして1日100台来る市場では**パレット保管のために100パレット分の商品が置けなくなる**計算。レンタルパレット導入により、この専有面積の削減及び市場内の混雑緩和に寄与。

## 規格見直し

既存の段ボール・トレーでは、11型パレットに適合しない



既存段ボールでのオーバーハング(パレットサイズ超過)

段ボール・トレーの規格を変更



# モーダルシフトの推進

- 農水産物・食品は、トラックによる輸送が96.5%。鉄道・船舶輸送をはじめ、多様な輸送モードを活用したモーダルシフト等を推進。
- 輸送スケジュールや輸送ロットの調整、品質保持等が課題であるため、輸送実証や中継共同物流拠点の整備等を支援。

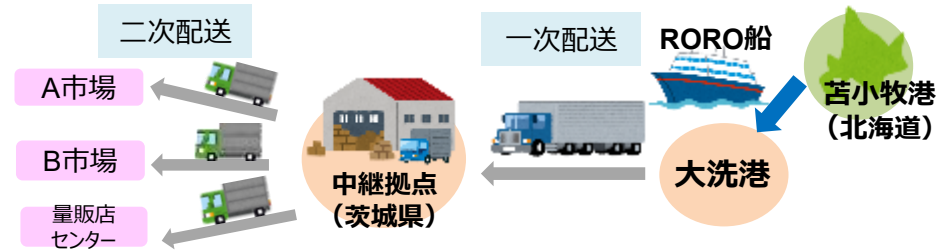
## ◎ コメの鉄道輸送（秋田～大阪）

- ・ JA全農が、休日の運休列車を活用し、**米の専用列車**として青森→大阪間で**定期運行**を開始（R5.11～）。
- ・ 秋田・新潟・金沢などの**途中駅で米などを積み込む**ことで西日本、東海地区などの消費地へ届ける。



## ◎ 青果物のRORO船輸送（北海道～茨城）

- ・ 北海道苫小牧港から茨城県大洗港へ**RORO船輸送**。
- ・ 関東の市場や小売店への配送を、トレーラー一貫輸送から中継輸送に切り替え。**高機能冷蔵庫を有する中継拠点**で**流通可能時期を延長**しつつ、**店舗ニーズに合った量で配送**。



## ◎ ピーマンの航空輸送（高知～東京・北海道）

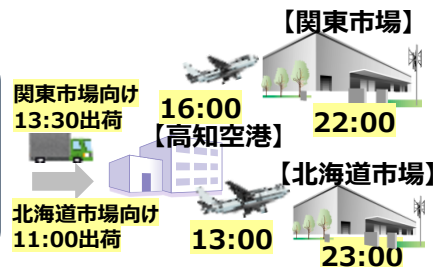
- ・ 鮮度を維持しつつ、トラック輸送への依存度を軽減するため、**関東の市場へ航空輸送**（旅客機の床下スペースの活用）。
- ・ さらに集出荷施設の一部**自動化**により作業時間・経費を30%以上削減。従来より早い便で**北海道へも出荷が可能**。

### 【集出荷場】

集荷 選果 箱詰め 積付け

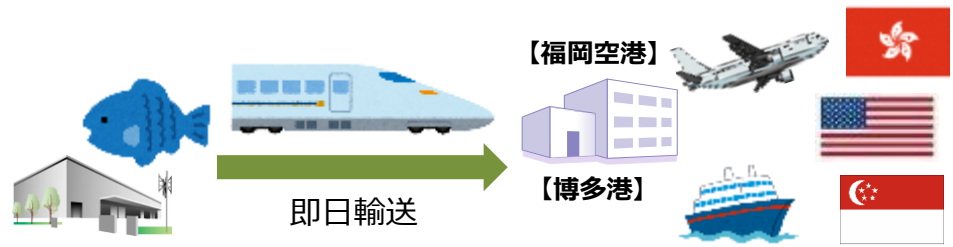


選果機への自動投入 自動段ボール組み立て



## ◎ 鮮魚の新幹線輸送（鹿児島～福岡）

- ・ 九州新幹線（鹿児島中央駅～博多駅間）の未活用スペース（車販準備室）を利用して荷物を**即日輸送**。
- ・ 鮮魚等の**輸送リードタイムの短縮**、**鮮度保持**により、博多空港・博多港から従来と異なる**産品・エリアへ輸出が可能**。



# 青果流通におけるデジタル化：JAグループにおける取組

- 現在、JAと卸売市場の間では、共通のベジフルコードを用いたベジフルネットによる取引情報交換の仕組みがある。
- 実態としては、JAから卸売市場へは紙・FAX・電話を主要手段として利用しているが、生産者から市場までのデータ連携により**業務効率化**や**データの販売への利活用**を進めるため、**集出荷デジタル化ツールの導入拡大**と**ベジフルネットの機能改修**に取り組む。
- **集出荷デジタル化ツールの導入拡大**によって、手書伝票での荷受から、スマホ入力等でデータ化された状態での荷受へ。これにより各種の集計作業やチェック作業、パンチ入力が不要になる。また、分荷データは改修後のベジフルネット経由で市場に即時連携され、FAX送信も不要になる。
- 将来的には、収集・蓄積されたデータを多方面で活用することで、生産者・JA・経済連・全農・市場卸・物流会社など青果流通に  
関与する事業者全体の業務の効率化を図る。

## 集出荷デジタル化ツール 概要



# 集出荷デジタル化ツールの導入事例（園芸：産地・市場）

## ユリ切り花の伝票のバーコード化

【JAにいがた岩船×JA集出荷システム（JFEテクノス）】

荷役等時間の短縮 デジタル化



導入前：手書き伝票の持ち込み  
→荷受け伝票を書いて仕分け  
→市場ごとに送り状を手書き  
導入の契機：時間や手間、ヒューマンエラーが負担である中、年々新品種が出て、いよいよ手が回らなくなった

- 出荷者がバーコードを貼り、データ入力・送信できるようにしたことで、荷受けから出荷までの作業量は3分の1以下に。
- 職員は**営農指導により時間を使えるようになり、品質や生産性の向上に手ごたえ**を感じている。
- 生産者も初めは慣れなかったが、タイムリーに情報を出すことが有利な販売につながり、高く多く売れることにもつながると分かったことで、前向きに取り組んでくれるようになった。

## 組合員から集出荷団体、その先への出荷情報連携

【JA晴れの国岡山（ブドウ、葉物）×nimaruJA（kikitori）】

荷役等時間の短縮 デジタル化



導入前：日々の組合員からの出荷伝票と荷物を当番制で生産者自らが検品。その後、JAで集計、送り状作成・FAXのうえ、システムへ手打ち。手書き業務の負担や運送会社の待ち時間が課題になっていた

- LINEを窓口として、アプリで出荷連絡、さらに検品もタブレットで簡単に実現
- 送り状発行が統一的な様式へと電子化され手作業による転記ミスや読み間違いもなくなったことで、出荷量が増えたにもかかわらず、運送業者を一切待たせることなく出荷可能に
- 組合員からも**「検品結果が当日中に自分のスマートフォンにフィードバックされ、過去の出荷情報も確認できるので次の栽培や出荷の参考になっている」**との声

## 集出荷管理システム導入による園芸事業改革

【JA山形おきたま×FRESH（ナラサキ産業）】

荷役等時間の短縮 デジタル化



導入前：10の農業が合併した後も、集出荷場ごとの荷受・分荷・精算事務を続けており、「市場ニーズに合わせた数量の確保ができない」「コストを考慮しない分荷で輸送費が増大」などの課題が山積していた。

- 「おきたま統一共選」を実現するために、FRESHを導入。
- 本所での**集中分荷によりスケールメリットを活かした販売が可能となり、運送効率化の向上**によって「販売単価の上昇」と「物流コストの低減」を実現。
- 集荷場では荷分業務の効率化が進み、営農指導の充実に繋がった結果、「生産数量の維持」が可能となった。また、荷受業務の簡素化と精算業務の迅速化も実現。

## 個人出荷者から卸売市場への出荷情報集約

【横浜丸中青果（株）湘南支社×nimaru（kikitori）】

荷役等時間の短縮 デジタル化



導入前：担当1名あたり100件超の出荷者を担当する中、電話、FAX、メール、SMSなど様々なツールで得た情報の集約が大変。出荷者への毎日の仕切価格といった販売情報の共有も手間がかかる。

- LINEを窓口として、アプリで個人出荷者から卸売業者へ出荷情報をデータにて提出。
- nimaruと卸売業者の基幹システムをシステム連携させ、入荷情報を卸売業者での手入力から、出荷者入力の入荷データを検品後にそのまま取り込めるように。
- 日々の業務連絡・データ入力にかかる時間が短縮した分、**出荷者と付加価値の高いコミュニケーションに時間を割くことができるようになった。**

# 農産物流通における商慣習の見直し

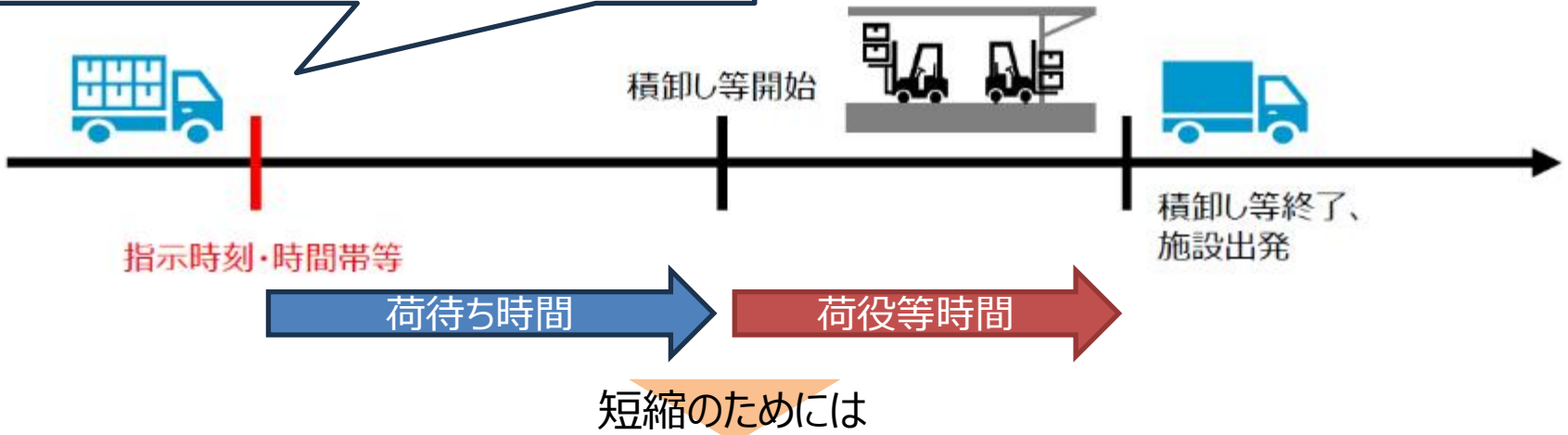
- 産地や卸売市場において、荷待ち時間の短縮のためには適切な受渡し時刻の設定、荷役等時間の短縮のためには積卸しや検品等の効率化が必要。そのためには、**納品の日時や荷姿・作業への影響**を踏まえて、**産地・卸・小売間の調整が必要**。

(荷待ち時間の起点)

- **到着時刻・時間帯の指示等がない場合**：到着時刻から
- 到着時刻・時間帯の指示等がある場合：
  - ① 指示時刻等より早く到着 **指示時刻等から**
  - ② 指示時刻等に到着 到着時刻から
  - ③ 指示時刻等より遅く到着 **到着時刻から**
- ※ 到着後速やかに受付等を行う場合は、受付等を行った時刻
- ※ 運転者の休憩時間は除外

(荷役その他の内容)

- **荷積み及び荷卸し**
- **検品**、荷造り、搬出入、保管、仕分又は陳列、ラベル貼り
- 代金の取立て又は立替え
- 荷主等が行う荷役への立会い
- その他の通常運転の業務に付帯する業務
- ※ 荷主等の指示によるもの



産地	正確な出荷時間の伝達・厳守が必要。	パレット化や規格集約による検品効率化などが 必要。
卸売市場	産地における出荷時間・出荷先の調整や 市場の環境整備が必要。	積替えの少ない運用が必要。

# 発着荷主・運送事業者間での商慣習の見える化

## 産地・市場と運送会社が連携した物流の改善提案と協力

【熊本交通運輸】

### 荷待ち時間の短縮

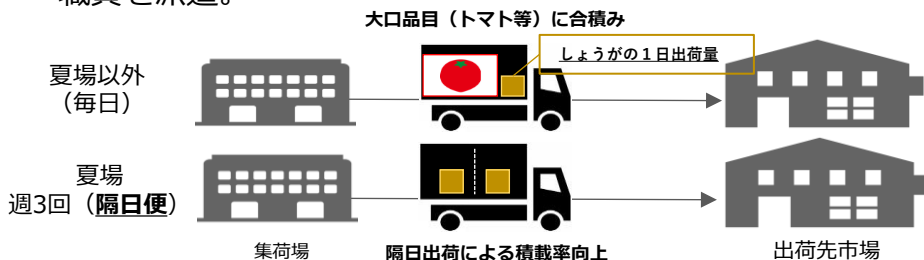
- 出荷場において直前の生産者持込み等によるドライバーの荷待ちを防止するため、JAと協議して、午前11時までに準備作業を終えるようルール化。

### 積載効率の向上等

- 県内の運送会社同士で行先毎に荷をやり取りし積載率を向上。
- しょうがは年間を通じて小口のため、トマトなど他の大口品目の空きスペースに合積み。夏場はトマトが1車単位で空きがないため、JAと協議して、単体で週3回の隔日便に集約。
- 小口の市場向け輸送は、市場と協議して、隔日便への変更や、中間地点の市場に置いて荷を取りに来てもらうよう調整。

### 費用の可視化

- 1市場向けに3～5ケースなどの小口依頼には、最低料金を導入するとともに、130%増し料金を設定。
- 地元便（巡回集荷→地元市場出荷）は積載率が低いいため、車建て運賃を積載率で割り戻し140%増しの個建て運賃を設定。シーズン終了時に想定より積載率が高かった場合は、車建てとの差額を返戻。
- 遠隔地のJAや運送会社と帰り荷の調整など運送連携。人と人とのネットワークが大事で、信頼関係構築のため定期的に職員を派遣。



## メーカー、中間流通・卸、小売が連携した物流サービス水準の見直し

【製・配・販連携協議会 取引透明化に向けた商慣習検討WG】

現状

- 消費財サプライチェーンは、商品価格と物流費が一体となっている店着価格制が一般的。全国ほぼ同様な価格で消費者に商品を届けられる一方、物流費を尺度とした物流効率化のインセンティブが働きにくいというデメリットも生じている。



### 費用の可視化

### 荷役等時間の短縮

### 積載効率の向上等

あるべき姿

- そこで、取引において基準となる物流サービス水準を明確化し、物流サービスの高低に応じて物流コスト分を上下させる価格体系（メニュープライシング）を導入。
- 商慣習を整理し、ルール化することで、共同輸配送や共同拠点利用といった物流効率化の取組の円滑化も期待される。
- ワーキンググループでの議論をもとに、「消費財サプライチェーンにおける物流効率化に向けた物流サービスの明確化およびメニュープライシング導入ガイドライン」を策定。導入に向けた環境整備を進める。

①基準となる  
物流サービスの水準を規定する項目

②物流サービスの高低を規定する項目

発注方式

デジタルorアナログ

最低発注・配送ロット

効率的なロット調整

リードタイム・納品日

×


リードタイムの調整  
納品日の調整


受け渡し場所・方法


附带作業有無

返品

返品の有無

 [逆引き事典から探す](#)

 [組織別から探す](#)

 [キーワードから探す](#) Google 提供

検索

会見・報道・広報

政策情報

統計情報

申請・お問い合わせ

農林水産省について















[ホーム](#) > [新事業・食料産業](#) > [流通](#) > [食品等の流通の合理化について](#)

## 食品等の流通の合理化について

貢献するSDGs

ロゴをクリックすると  
目標ごとの解説ページに  
リンクします



- ❖ 農林水産物・食品の物流生産性向上取組事例集  
[青果物（産地\(PDF：2,864KB\)](#)  ・ [市場\(PDF：3,703KB\)](#)  ) / [花き・水産・その他\(PDF：2,563KB\)](#)  / [加工食品\(PDF：2,175KB\)](#) 
- ❖ [全国中央市場青果卸売協会物流部会会員会社の「荷待ち混雑度の可視化、荷下ろし場所等」公表](#)  (外部リンク)
- ❖ [農業用施設の整備と併せた流通合理化について\(PDF：1,612KB\)](#) 
- ❖ [11型レンタルパレット導入支援について\(PDF：1,181KB\)](#) 
- ❖ 物流効率化法関係資料（詳細は「物流効率化法」タブより）  
[特定荷主の手引き\(PDF：1,251KB\)](#)   
[食品流通業における重量算定の例\(PDF：339KB\)](#)   
[JA向け物流効率化法説明資料\(PDF：3,953KB\)](#)  **New**
- ❖ 物流生産性向上の取組に関する参考資料（外部リンク）  
[荷主・運送事業者のマッチングによる共同輸送の手引書\(PDF：3,072KB\)](#)   
[鉄道コンテナの輸送品質向上について](#)   
[内航海運へのモーダルシフト利用検討ガイド等](#)   
[荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン（加工食品物流編）\(PDF：5,900KB\)](#) 

本ページのQRコード

